

2018年9月3日
株式会社みずほ銀行

**「【サウジアラビア】海外農業・貿易投資環境分析委託事業」
に関する調査業務の受託について
～「日・サウジ・ビジョン2030」への貢献～**

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、農林水産省が公募した「平成30年度海外農業・貿易投資環境調査分析委託事業（サウジアラビア・アラブ首長国連邦）」（以下「本調査事業」）に応札をし、このたび、採択されました。

昨年3月、46年ぶりとなるサウジアラビア国王の訪日を受け、新たな日・サ協力の羅針盤として「日・サウジ・ビジョン2030」が策定されました。

このビジョンでは、「サウジ・ビジョン2030」と「グローバル・フードバリューチェーン戦略」のシナジーにより産業の多角化、革新性を高める両国ならではの協力や具体的な先行プロジェクトを定める内容となっています。農業・食料分野も重点分野の一つに含まれており、サウジアラビアでは当該分野における日本企業の進出が期待される一方、日本企業が企業活動を行う上でサウジアラビア市場についての情報不足が課題となっています。

本調査事業で、〈みずほ〉はサウジアラビアにおける日本の農業・食品関係企業の参入有望分野の調査を実施します。また、サウジアラビアおよびアラブ首長国連邦・ドバイに官民ミッションを派遣することで、両国における日本の農林水産業・食品関連企業の進出を促進するとともに、輸出促進を図ることを目指しています。

〈みずほ〉は、サウジアラビアにもっとも早く進出した邦銀として、2009年11月のみずほサウジアラビア設立以来、当地にてアドバイザーリービジネスを始めとした総合金融サービスを提供してきました。みずほ銀行における海外進出支援業務により蓄積されたノウハウとみずほサウジアラビアの知見を活かし、本調査事業に取り組んでいきます。また、当該事業を通じ、サウジアラビアに向けた日本企業の進出支援を推進するとともに、日本・サウジアラビア両国の発展にも貢献していきます。

以 上